

平成 26 年 6 月吉日

Seahorse Bioscience 社製 細胞外フラックスアナライザー用ソフトウェア XFe Wave 2.1 Release Note (Desktop 用) 【リリースノート】



【イントロダクション】

本リリースにより、Seahorse XFe^e細胞外フラックスアナライザーにおける、「Wave Desktop」のアッセイのデザインと解析の機能を更新します。インストールの方法については、Read Me : Wave2.1 のインストール手順（デスクトップ）をご参照ください。同時に、機器とソフトウェアの詳細な解説書「XFe^e Analyzer Manual」と「Wave User's Guide」をご参照ください。

【XF Stress Test Report Generators】

本リリースには「XF Stress Test Report Generators」が含まれます。これらは Microsoft Excel の 2007 以降に互換性のある、マクロ対応ワークブックです。これらは Wave のデータをエクセルで出力します。「Wave Desktop」のインストールの間、次のウィンドウが現れます。「XF Stress Test Report Generators」をインストールしない場合は、Next ボタンをクリックする前にチェックボックスのチェックを外してください。そうでない場合、「Wave Desktop」の更新に続いて「XF Stress Test Report Generators」のインストールがすぐに始まります。



【本リリースでの修正点】

これまでの問題点	Wave 2.1 での修正点
パフォーマンス&安定性	
Waveによって作成された各フォルダにおける assay ファイル数が 250 を超えると、ソフトウェアの動作が遅くなりました。	assay ファイルがフォルダに 250 以上保存されても、Wave のパフォーマンスには影響しません。
Over view タブの Display の Rate から Level への切り替えは、非常に遅いか、フリーズを起こすことがありました。	Display の Rate から Level への切り替えが速くなりました。
お使いのデスクトップまたはラップトップ PC において、Administrator 権限のないユーザーは、Wave の環境設定の変更または catalog アイテムの編集ができませんでした。	全ユーザーが、Wave データ保存場所を編集できるアクセス権をもち、環境設定の変更やアイテムの編集が可能になりました。

Analysis	
results ファイル (.asyr) が XF ^e アナライザーコントローラからデスクトップまたはラップトップ PC に転送された際に、Over view タブのプレートレイアウトの行列のラベルが消えることがありました。	プレートレイアウトの行列のラベルは正しく表示されます。
“Group”より先に“Well”モードが選択されると、“Summary”ディスプレイが機能しないことがありました。	“Summary”ディスプレイはどちらのモードでも正しく機能するようになりました。
あるグラフオプションを使うと、Y2 軸を非表示にしても表示し続けました。	Y2 軸はユーザーによって非表示にすることができます。
Injection のマーカーが、実際に動作した時点でなく元の想定された (デザインにより指定された) 時点に表示されることがありました。	解析時の Injection のマーカーは、それらが実際に動作した時点の X 軸上に表示されます。
Save As をしても元のファイルに上書きされることがありました。	新しいファイルが保存され、元のファイルは変更されません。
Group モードで“不使用”にしたウェルは、Well モードに切り替えると、“使用”に戻せないことがありました。	モードの切り替え後も、ウェルを“使用”に戻せます。
メールに添付された Wave ファイルや読み取り専用のファイルは、ダブルクリックしても開けませんでした。	メールに添付された Wave ファイルをダブルクリックで開くことができ、更に読み取り専用のファイルも開くことができます。

Design	
インポートした Wave 1.x assay ファイルには、二つのバックグラウンドグループが存在することがありました。	新しくインポートした Wave 1.x assay ファイルは、バックグラウンドグループは一つです。以前にインポートした Wave 1.x の assay designs ファイルは、「Save As Design」で修正されます。

【既知のバグ】

Installation (Windows XP の PC で Wave 1.x から Wave 2.x へアップグレードする際)

Windows XP の OS では、システムの制限により、Wave 1.x で作成された results ファイル (.asy) を Wave 2.x 版 (.asyr) に変換できません (=ファイルが無くなってしまいます)。

- アップグレードを開始する前に、保持したい results ファイルを別の場所に転送(Export)してください。assay designs については、このバグによる影響はありません。

Design

- wait、mix、measure の各コマンドの最大時間が 59 分 59 秒です。
- Assay Conditions では、複数の条件に同じ名前を設定可能なため注意が必要です (例: Media 2 という名前の条件が複数存在可能)。デフォルトの名前を用いる場合、先に追加した条件を削除した後に、再び条件を追加すると、既存の名前の条件が追加されてしまいます。
- catalog 内の **Name** では次の記号は使えません。 *? | \ / " : > <
catalog 内の他の項目では使えます。
- catalog に保存されているアイテムの名前は変更できません。変更し保存すると、元のアイテムの下に新しいアイテムが作成されます。

Analysis

- Overview 画面: Wave 1.x (.asy) や XF Software (.xfd) で作られたデータファイルの Injection のマーカーは、Injection が行われたと推定される時刻で X 軸に描かれ (プロトコルに基づいて)、実際の Injection 時刻と一致しないことがあります。
- Overview 画面: グラフの Options における Y 軸の最小・最大値の設定は、パラメータ (例: Y1、Rate など) の変更を行うと再計算され、パラメータを元に戻しても、前に設定した最小・最大の値には戻りません。
- Overview 画面: グラフの Options で Interval と Thickness を調整すると、線グラフと棒グラフの両方に適用されます。
- Group Details でバックグラウンドグループを解除すると、グラフにおいてもバックグラウンド補正は解除されます。

※その他、弊社において以下の変更点を確認しております。

- Analysis において、グラフの領域でカーソルを当てた際に、ウェルの番号や情報は表示されなくなりました。応答性を改善するための変更点であり、バグではありません。



お問合せ：
プライムテック株式会社
www.primetech.co.jp

技術部・テクニカルサポート

東京都文京区小石川1-3-25 小石川大国ビル9F
 Phone : 03-3816-0851 (代表) Fax : 03-3814-5080
 E-mail : support@primetech.co.jp